

戸田康之さん『非常電話』（4月4日配信）

こんにちは！戸田です。よろしく。

今日のお話は、高速道路にある緑のマークで「SOS」と書いてある非常電話、そのお話をしたいと思います。

以前、家族でキャンプにいきました。趣味でいろいろな所へ行くのですが、ずいぶん前に家族で和歌山へ車で行ったことがありました。子どもが3人いるのですが、いちばん下の子はまだ保育園に通っていて、上2人は小学生だったと思います。あと妻と私と5人で、埼玉の自宅から車で遠路はるばる和歌山へ行き、キャンプをしたんです。その時は8月の夏休みで、キャンプからの帰りのことです。車は中古を買って乗っていたんです。乗っていた時、いつから故障していたのかは分かりませんが、高速道路は8月の夏休み時期ですから行楽客で渋滞していました。和歌山から埼玉へ帰る途中の高速道路を走っていた時に、三重あたりだったでしょうか、渋滞していたのでノロノロ走っていたんです。その時に突然、足元の真ん中にあるブレーキペダルがストーンと抵抗なく踏み込むような格好になって、いくら踏んでもブレーキが利かなくなってしまうんです。ふつうはブレーキを踏むと抵抗があって車が止まりますよね。そうじゃなくてももうスカスカなんです。そうしている間にも車は少しずつ進むし、前には車もいます。もう焦ってしまってどうしようかと考え、急いでシフトレバーをパーキングに切り替えると車が止まりました。ですが、ブレーキは相変わらずスカスカのままです。壊れてしまった…と青ざめました。三車線の真ん中を走っており、止まった時に後ろからの追突はなかったので良かったのですが、この後どうしようかと思いました。ハンドルも重く、無理やり左に切り、左車線の車に道を開けてもらい、生きているアクセルを少し踏んで進み、なんとか路肩に停車させることが出来ました。車の故障、ましてや高速道路での故障など経験がありません。一般道ですら車の故障の経験がありません。三重で壊れてしまいどうしたものかと、妻も故障に参っていました。ロードサービスを呼ぼうにも、以前は電話リレーサービスもありません。保険会社にメールで連絡をしてもすぐに対応してくれるかもわかりません。その時視界に緑の看板に SOS 非常電話と書いてあるのが見えました。ただ、使ったことがありません。さらに電話はできないので使用できるかわかりませんでしたが、とりあえず向かいました。路肩の端の安全な場所を歩き、着いてみるとこのような形で、手前に引くことでBOXが開きます。電話だから使えないかもしれないと思いつつ、開けてみると電話ですが電話をしなくていいんです。押しボタンがついています。初めてボタンがあることを知りました。今まで開けたことがなかったので押しボタンがあることを知りませんでした。事故、故障、救急、火事とボタンがあり押せば話さずとも連絡ができるようになっており、聴者だけじゃなくろう者や外国人、声が出せない人など様々な人が利用できるようになっていました。ボタンを押すだけと分かり、ホッとしました。故障のボタンを押してはみたものの本当に来るのか心配でした。ひとまず車の場所まで戻り、車の中は危ないので安全な場所で待ちました。8月なので日差しも強く、子どもたちもぐずりだしました。なだめて待つも道路は渋滞しているのでなかなか来ません。2時間後にやっときました。最初に警察が来て事情を聴かれ故障を伝えるとレッカーを呼ぶことになり、さらに3時間待ちやっとレッカー車が到着し車を見てもらうと、その場での修理できないとなり四日市市に運ばれました。運転手が保険会社とやり取りをしてくれて、車は近くの修理工場で修理することになり別の手段で帰ることになりました。四日市駅に連れて行ってもらいましたが、すでに夜10時ごろです。新幹線もありません。しかたなくホテルを探し泊り翌日新幹線で帰りました。本当に苦労しました。でも、高速道路の非常電話に押しボタンがあることを知ることが出来て良い経験でした。